



お元気ですか!

志村 たかよし です

第655号 2013年8月18日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

豊洲新市場予定地

ムダな公共事業そのもの「土壌汚染対策工事」

対策工事「完了」
地点は1割以下



5街区は青果エリア、6街区と7街区は水産エリア＝写真は掲示板より

豊洲新市場予定地でおこなわれている汚染土壌と汚染地下水の対策状況が、このほど東京都から発表されました。

それによると、5街区、6街区、7街区の全体で、土壌汚染対策の

進捗率は53%、汚染地下水対策は42%ということでした。

5街区と7街区では、ほとんどの地点で対策工事が行われていますが、汚染物質の仮設処理プラントがある6街区では土壌汚染対策工事は予定地点のわずか12%、汚染地下水対策工事も13%しか着手されていません。

(裏面へ)



ホコリが舞いあがる5街区の様子。枠内は下写真



東京ガス工場建物で使われていた18000本の杭や建物基礎などのコンクリートの一部＝5街区



汚染物質の処理プラントなどで埋め尽くされている6街区。後景はお台場などの臨海部＝晴海大橋から



6街区のプラントからは水蒸気が…＝晴海側から

対策工事が完了した地点は、土壌で23地点、地下水で6地点にとどまり、進捗率は1割に達していない状況です。

都の発表では、土壌汚染対策費は672億円となる見込みですが、さらなる増加も予想されます。

しかし、対策工事をしても完全にはきれいにならないため、結局汚染物質を「封じ込め」て、その上に建物を建てようというのですから、まったく大規模公共工事の



このような大規模工事をしなければ市場を作れないなんて＝7街区

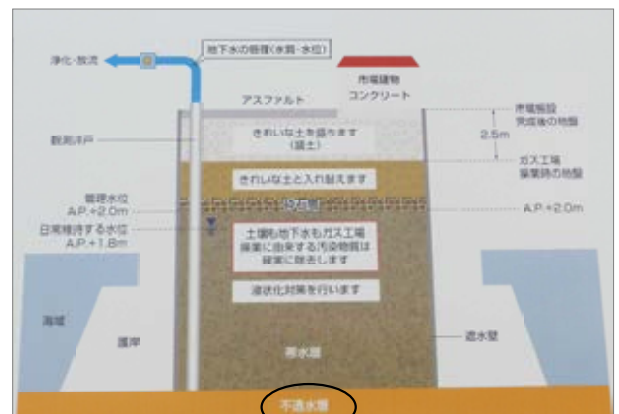
ムダ遣いそのものです。

ここまでして強行しようとする築地市場の「移転」。工事を請け負う清水建設などのゼネコンにとっては「おいしい」仕事です。

現在の豊洲がどうなっているのか、8月7日に現地で写真を撮ってきました。



手前は5街区(青果)。ゆりかもめの高架橋と道路をはさんだ向こうが7街区(水産)。築地市場の使い勝手と大きく異なるため、市場関係者からブーイングが出てます。



不透水層の中も下も汚染されたまま「封じ込め」

「意見」「要望など」お気軽に「連絡ください」(03-6360-0000)